



横浜市歴史博物館 企画展

会期 9月24日(土)～11月27日(日)

じゅふくしげる

## 寿福 滋 写真展

# 「杉原千畝と命のビザーシベリアを越えてー」

この「命のビザ」に、横浜港や氷川丸が関わりながら、新たな物語が始まります！

杉原千畝は、第2次世界大戦中、ナチス・ドイツの迫害により命の危険にあったユダヤ系難民などへ、大量の日本への通過ビザを発給し、その「命のビザ」は6千人の人びとを救済しました。その勇氣ある人道的行為は世界的に高く評価されています。

本企画展は長年にわたり杉原千畝の足跡を追い続けてきた<sup>じゅふくしげる</sup>寿福 滋 氏の写真展で、難民の自由への逃避行をたどる内容です。

### 《横浜との関わり》

逃避行の中で横浜は重要な中継地となり、この8月に**国の重要文化財となった氷川丸は**、多くのユダヤ系難民を横浜からバンクーバーやシアトルへ運んだ現存する唯一の船です。**横浜とバンクーバーの姉妹都市提携 50 周年の 2015 年には、バンクーバーにおいて特別展「見えざる糸: 命の杉原ビザとバンクーバーまでの旅路」が開かれ、「命のビザ」と横浜の関係がクローズアップされました。**

同じ年の9月に、「命のビザ」等が、ユネスコ記憶遺産の候補に選ばれ、世界中から注目を集め、その余韻は今でも続いています。このような時期に開催される本展が、「命のビザ」の物語に、横浜や氷川丸が関わっていたことを、広く市民の方に知っていただく機会になれば幸いです。

### 【林 文子 市長コメント】

横浜・バンクーバー姉妹都市提携 50 周年を記念した杉原千畝氏の特別展を昨年、バンクーバーで視察し、改めて氏の功績に触れることができました。この「命のビザ」の物語に、横浜港や氷川丸が関係したことを、より多くの市民の皆様にも知っていただきたいと思っております。そしてこの事実を、国際都市横浜として誇りをもって後世に引き継いでまいります。



杉原 千畝



命のビザ

## 【関連企画】

### ●講演会「命のビザの歴史的背景

ー1940年前後のヨーロッパ情勢ー

日 時：10月30日（日）14:00～15:30

講 師：外務省外交史料館課長補佐 白石仁章氏

会 場：講堂

参加費：500円

定 員：170名

申 込：当館ウェブサイト又は往復はがき



氷川丸

(①イベント名②住所③氏名④年齢⑤電話番号を明記の上当館まで)

締 切：10月12日（水）17:00

### ●写真家・寿福滋氏によるフロアレクチャー

日 時：10月1日（土）、10日（月・祝）、

11月3日（木・祝）、27日（日）

11:00～、14:00～

会 場：企画展示室

参加費：無料

定 員：各回30名 当日先着順



シベリア鉄道

## 【寿福滋氏プロフィール】

1953年神戸市生まれ。横浜港北ニュータウンの発掘調査にあたって埋蔵文化財の撮影で活躍。その後フリーとなり関西を中心に美術・文化財を専門に撮影。アウシュヴィッツを訪れて以来、ライフワークとして命のビザを手にした人びとの旅路を取材。

著書に『杉原千畝と命のビザーシベリアを越えてー』（サンライズ出版、2007年）など。

## 【会期など】

会 期：平成28年9月24日（土）～11月27日（日）

開館時間：午前9時～午後5時（券売は4時30分まで）

観 覧 料：無料

休 館 日：月曜日（10月10日は開館）、10月11日（火）

主 催：横浜市歴史博物館

共 催：横浜市教育委員会

協 力：NPO 法人杉原千畝命のビザ/岐阜県八百津町/外務省外交史料館/杉原千畝研究会/  
大正出版株式会社/日本郵船歴史博物館/富士ゼロックス株式会社

後 援：朝日新聞横浜総局/神奈川新聞社/産経新聞社横浜支局/東京新聞横浜支局/  
日本経済新聞社横浜支局/毎日新聞横浜支局/読売新聞東京本社横浜支局/  
NHK横浜放送局/ t v k

お問合せ先

公益財団法人 横浜市ふるさと歴史財団 前近代歴史資料課長 井上 攻 Tel 045-912-7777  
教育委員会事務局 生涯学習文化財課長 重松 馨 Tel 045-671-3236